

江里 | 人間国宝

佐代子展

S a y o k o
E r r i

— 華麗なる^{きりかね}截金の世界 —



2008年10月1日〔水〕～12月25日〔木〕 会期中無休

開館時間: 午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)

[入場料] 一般1,000円(4枚セット券3,000円)、大学生800円、高校生500円、中学生以下無料

paramitamuseum
財団法人岡田文化財団

MAPCODE 566359095

截金まり香盒

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077 <http://www.paramitamuseum.com> E-mail=office@paramitamuseum.com

江里佐代子展

— 華麗なる截金の世界 —

江里佐代子は昭和20年、京都の刺繍家の家に生まれました。学生時代は日本画、染色などを学びましたが、仏師の江里康慧と結婚後は、夫の作る仏像を荘厳する截金の技法の習得に励みました。

截金は、純金箔を数枚焼き合わせたものを鹿皮の盤上で竹の刀で細く切り、それを筆先につけて貼りながら文様を描き出す技法で、6世紀に仏教とともに大陸から伝えられました。その後13世紀頃には他の仏教美術とともに頂点を極めますが、次第に仏教美術の凋落、金泥技法の出現などで截金は衰退し、その名称すら忘れられ少数の截金師により伝承されて来りました。

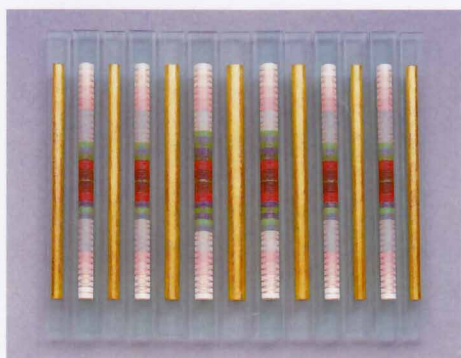
仏像荘嚴のために截金の技をひたすら追求した江里佐代子は、平成14年、57歳の若さで重要無形文化財「截金」保持者（人間国宝）として認定を受けましたが、その伝統技法を多くの人々に知ってもらおうと身近な工芸作品に截金を施す活動も行いました。そして茶道具、筥、衝立をはじめとして、平成17年には京都迎賓館の建築壁面装飾まで手がけることとなりました。

平成19年秋、日本文化を紹介するためイギリス大英博物館で実技と講演を行った江里佐代子は夫と二人で立ち寄ったフランス・アミアンの地でたおれ、帰らぬ人となりました。享年62歳でした。

本展覧会は当館所蔵の江里作品と平安仏所に残された作品を一堂に展示し、早世の芸術家の業績をたどります。

江里佐代子 略年譜

- 1945（昭和20）年 京都に生まれる。
- 1964（昭和39）年 京都市立日吉ヶ丘高校美術課程日本画科卒業。
- 1966（昭和41）年 成安女子短期大学意匠科染色コース卒業。
- 1978（昭和53）年 北村起祥師に師事、伝統截金の手ほどきを受ける。
- 1981（昭和56）年 アメリカ サンタフェにて「截金展」。
- 1982（昭和57）年 東京銀座 和光ホールにて第1回「江里佐代子截金展」。以後7回開催。
- 1994（平成6）年 正倉院御物「漆彩絵花形皿」復元制作参加。
- 2002（平成14）年 重要無形文化財「截金」保持者（人間国宝）認定。
- 2005（平成17）年 「益治のあやなす彩りとロマン」人間国宝 江里佐代子截金の世界「1」5会場巡回展。紫綬褒章受章。
- 京都迎賓館内部装飾制作参加。
- 京都市文化功労者に選ばれる。
- 2006（平成18）年 （財）仏教伝道協会より第41回仏教伝道文化賞受賞。
- 2007（平成19）年 「現代日本のわざと美（大英博物館）」にて截金の美技と講演。
- 10月3日 アミアン市（仏）にて急逝。享年62歳。
- 旭日小綬章受章。



截金ガラス額装「瑠璃香」



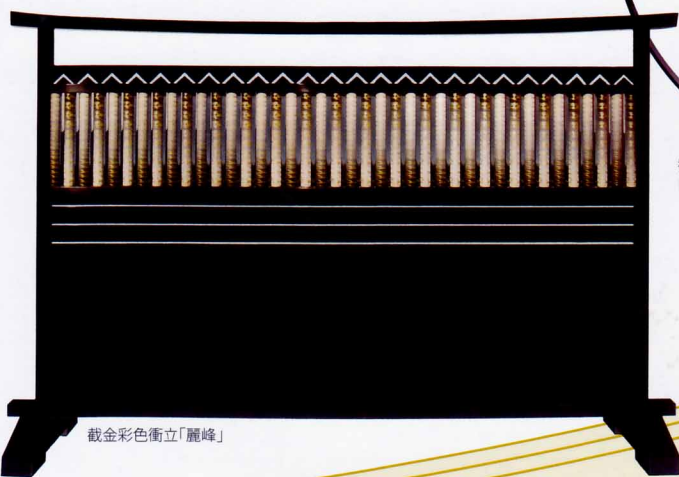
截金彩色額装「宙に舞う花」



截金彩色統命縷「碧い花」



截金彩色飾箱「宙へ」



截金彩色衝立「麗峰」

次回
展覧会

21世紀を担う女性陶芸家たち

平成21年1月2日(金) - 2月26日(木)

かつて職人として陶芸制作にかかわっていた女性たちが、戦後、本格的な個人作家としての歩み始めて半世紀が経ちました。これら女性作家たちの活躍は、今日の日本陶芸の隆盛に大きな役割を果たすとともに、その表現の豊かさは「陶芸」という表現の可能性を改めて示しています。

本展覧会では、比較的若い世代を中心に女性作家たちの伸びやかで意欲に満ちた陶芸の現況を、気鋭の作家たち14人の近作または新作で紹介します。

出品作家（五十音順）

- 安藤麻衣子 / 稲崎栄利子 / 河合匡代 / 川上智子 / 金鉾淑 / キム・ヒョンスク / 久保田厚子 / 高津未央 / 田嶋悦子 / 田中知美 / 中井川由季 / 林香君 / 福本双紅 / 三輪華子 / 山野千里

監修：外館和子氏（美術評論家、国際陶芸アカデミー会員）



田嶋悦子 Cornucopia 07-Y3 撮影：斎城卓



交通機関

- お車をご利用の場合
東名阪四日市I.C.で降りて国道477号(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km
無料駐車場あり(普通車100台、大型バス駐車可)
- 電車をご利用の場合
近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園駅」下車、西へ300m
全館バリアフリー、車椅子常備

paramitamuseum
財団法人岡田文化財団

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6
Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077
http://www.paramitamuseum.com
E-mail=office@paramitamuseum.com

MAPCODE
566359095